

Cisco 1600 シリーズ ルータの ROMmon 回復手順

目次

[はじめに](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[フラッシュ中の有効なイメージを探す](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

Cisco 1600 シリーズ ルーターを、ROMmon スタック (rommon # > プロンプトが表示される状態) から回復する方法を説明いたします。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

この文書に記載されている情報は下記のようにハードウェアプラットフォームに基づいています：

- Cisco 1600 シリーズ ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

[フラッシュ中の有効なイメージを探す](#)

次に示す手順に従ってください。

1. する必要のある最初の事柄はどのデバイスがルータで利用できるか見ることです。 `dev` コマンドの発行によってこれをして下さい。

```
rommon 1 > dev
Devices in device table:
      id  name
flash: flash
rommon 2 >
```

2. 次に `dir [device ID]` コマンドを発行し、有効な Cisco IOS(R) イメージを探します。

```
rommon 3 > dir flash:
      File size          Checksum  File name
3407884 bytes (0x804b4c)  0x6ba0   c1600-y-mz.121-5
rommon 4 >
```

3. そのイメージからのブートを試みます。 そのファイルが有効ならば、正常動作モードに戻ります。

```
rommon 5 > boot flash:c1600-y-mz.121-5
program load complete, entry point: 0x80008000, size: 0x804a30
Self decompressing the image : #####
#####...
```

4. どのファイルも有効ではない場合、以下の手順のいずれかを使って、新しいファイルをダウンロードする必要があります。ブート イメージと TFTP サーバを使用したダウンロード 1600 はブート イメージを ROM に保持しているため、ブート イメージを破損することなく常に使用できます。この手順は Xmodem のダウンロードよりも短時間で行うことができます。RxBoot モードに進むことができない場合は、問題はおそらくハードウェア関連です。[詳細な方法については、「ブート イメージを使用した ROMmon からのアップグレード方法」を参照してください。](#)ROMmon での X-modem を使用したダウンロード新しい Cisco IOS ソフトウェアはまた、X-modem を用いてコンソール ポートを介してダウンロードすることもできます。[ROMmonを使用した Xmodem コンソールダウンロードの手順](#)を参照して下さい。ほかのルータを用いて有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージを PCMCIA カードに移します。同じようなルータ (か互換PCMCIAフラッシュカードファイルシステムを-[PCMCIA ファイルシステム互換マトリックス](#)を見てもらう少なくとも 1つの他のルータが) あれば、またルータを回復するのにそのフラッシュカードを使用できます:両方のルータが同一 (同じシリーズ) ならば、他のルータのフラッシュ カードを使用して、回復したいイメージをブートすることができます。注意: 1600 シリーズには、フラッシュから実行される (Run-From-Flash) タイプ (標準的な 1600) と、RAM から実行される (Run-From-RAM) タイプ (1600-R) があります。イメージの名前が「c1600-xxx-l」の場合は、Run-From-Flash ルータです。イメージの名前が「c1600-xxx-mz」の場合は、Run-From-RAM ルータです。Run-from-Flashルータはフラッシュ メモリから Cisco IOSソフトウェアを直接実行します、従って実行ルータからフラッシュカードを取り外すことはルータを停止します。ルータの種類は異なっても、両方のルータに互換性のある PCMCIA フラッシュ カード ファイルシステムがあれば、そのルータを使って Cisco IOS ソフトウェア イメージをフラッシュ カードにロードすることができます。こうしてこのイメージを回復しようとしているルータに移動することが可能になります。

[関連情報](#)

- [ソフトウェアのインストールとアップグレード手順](#)
- [1600 シリーズ ルータ サポートページ](#)
- [Cisco IOS サポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)